

申請書の書き方(表面)

<全日制・通信制・定時制>

・申請者は、保護者(親権者)等になります。
 ・申請者は、生徒1名に対して、その生徒の保護者(父母等)のいずれか1名としてください。
 ・ここで記入していただく申請者は、「**口座振替申出書**」(申請者全員が提出)、「**扶養誓約書**」(該当者のみ提出)に記入いただく申請者と同一人物でなければいけません。

【申請区分】
 該当する世帯区分の**いずれか一つに、○を記入**してください。(重複して申請できません。)
 →以下、世帯区分①～④と記載します。

高校生等の兄弟姉妹が、国公立と私立に通っている場合(全日制・定時制)

例)私立に在学する妹を2人目以降として、申請した場合。
 合計 274,100円

1人目 + 2人目以降

対象世帯区分②で申請 兄:国公立 122,100円 対象世帯区分③で申請 妹:私立 152,000円

差額12,200円

例)私立に在学する妹を1人目として、申請した場合。
 合計 286,300円

1人目 + 2人目以降

対象世帯区分②で申請 妹:私立 142,600円 対象世帯区分③で申請 兄:国公立 143,700円

所得割額が非課税世帯(通信制・専攻科除く)で国公立の高等学校等に在学する兄弟姉妹がいる場合は、給付額が12,200円(年額)多くなるように、**上図の(2)(私立に在学する高校生等を1人目として申請区分②、国公立に在学する高校生等を2人目以降として申請区分③)で申請する**ようにして下さい。
 ※兄弟姉妹が全員私立の場合は、どなたを②③にするかで合計金額に差はできません。

○「**①奈良県高校生等奨学給付金申請書**」の書き方と、記入上の注意事項です。
 ○記入にあたっては、**黒字のボールペン**で記入してください。(消せるボールペンは使用しないでください。)
 ○記入誤り等は、その部分を**二重線で消したうえで訂正**してください。(修正テープや修正液は使用しないでください。)

第1号様式(第5条関係) <本年度7月1日時点の状況を記載> 私立学校

奈良県知事 殿 申請日 令和6年 7月 20日

令和6年度 奈良県高校生等奨学給付金申請書

奈良県高校生等奨学給付金の給付を受けたため、関係書類を添えて申請します。

ふりがな **なら たろう** 下 **630-8501**
 申請者(保護者等) **奈良 太郎** 奈良県 **奈良市登大路町30**
 連絡先電話番号①(0742-27-8347) ※日中連絡が可能な連絡先
 連絡先電話番号②(000-0000-0000)

高校生等との関係 **保護者・未成年後見人・主たる生計維持者・本人・その他**

対象となる高校生等
 ふりがな **なら みよこ** 生年月日 **昭和 平成 XX年 〇〇月 〇〇日 (16歳)**
 生徒氏名 **奈良 都子** 入学年月 **平成 〇〇年 4月** 本年度就学支援金の有無(審査中含む) **有・無**
 在学する学校名 **〇〇学園高等** 学校 **〇〇** 通信制・定時制課程

過去の高等学校等における在学期間
 私立 **△△学園高等学校** 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 学校の種類・課程・学科 **全日制・普通科**
 私立 学校の種類・課程・学科

【1】申請区分について
 申請される世帯区分に○を記入してください。(1箇所のみ記入してください。)

申請	対象となる課程	世帯区分
①	<全日・定時> <通信>	生活保護(生活扶助(高等学校等奨学費)支給世帯)
②	<全日・定時>	①③④以外の世帯(他に高校生等または、15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟・姉・妹がい無い場合など)
③	<全日・定時>	保護者等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が 非課税である世帯 対象となる高校生等の他に、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟・姉・妹がい無い世帯(①②④を除く) ※1人目の高校生等は②の給付額と同一です
④	<通信>	対象となる高校生等が 通信制課程に在学している世帯

【2】生活保護の受給状況について
 基準日(本年度7月1日)現在の世帯について、**該当するものを選択(☑)**してください。
 生活保護(生活扶助(高等学校等奨学費))を受給していません。
 ー「生活保護受給証明書」を添付します。【5】を確認し、記載してください。【3】【4】の記載は不要です。
 生活保護(生活扶助(高等学校等奨学費))を受給していません。ー【3】【4】【5】を記入してください。

【3】保護者等の所得の状況について
 次の者の課税証明書等を提出します。①から⑤の中から、**該当するものを選択(☑)**してください。

①	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者(父と母)2名分 又は 主たる生計維持者※1(父と母)2名分 ※ 配偶者が扶養家族として、非課税の唯一の世帯の課税証明書の提出が必須(婚姻不届)
②	<input type="checkbox"/> 保護者(父又は母)1名分 又は 主たる生計維持者※1(父又は母)1名分 (親権者が一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者(又は主たる生計維持者※1)が1人の場合 ※本年度7月1日以前に離婚・死別等により親権者(又は主たる生計維持者※1)が父のみ又は母のみの場合 ・親権者(又は主たる生計維持者※1)が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、1人の課税証明書等を提出できない場合 (例)DV事件により一方の親権者が付かない場合、等 ・その理由を申請書に添付してください。
③	<input type="checkbox"/> 未成年後見人()名分 一親権者がおらず、未成年後見人が保護者である場合(未成年後見人が複数担任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきことになっている者である場合は、その者を除く。
④	<input type="checkbox"/> 生活保護(生活扶助)を受給している者(主たる生計維持者) 1名分 (国外※1に滞在する者を除く) ※生活保護(生活扶助)を受給している場合 (例)児童福祉施設に滞在している場合 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、等(例)入学時点で生徒が成人で、かつ両親・配偶者等の扶養になりにくい場合
⑤	<input type="checkbox"/> 生徒本人 ※①～④に該当する保護者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 ・生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から基準日(本年度7月1日)まで生計を維持する者(①の場合は父と母、②の場合は父又は母)に変更がない場合に該当

課税証明書等を添付する保護者等の氏名及び生徒との続柄(※1に印刷付いた場合は不要です。)

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
奈良 太郎	父	奈良 咲子	母

※注意①:本制度の支給対象は、**<生活保護(生活扶助)受給>**世帯もしくは保護者等全員の**<住民税所得割額が非課税>**の世帯です。
 ※注意②:**新入生割当支給**の決定を受けている方は、**本様式での申請はできません**(減額の申請書類は別の様式です)。

申請の日を記載してください。

【高校生との関係】
 対象となる高校生等と保護者等の関係について、該当する項目を○で囲んでください。

【対象となる高校生等】
 高校生等について、課程名を○で囲み、学科名を記入してください。

【過去の高等学校等における在学期間】
 前籍校がある場合は、<学校名>、<在学期間>、<課程・学科名>、<前籍校における給付金の受給回数>を記入してください。

【保護者等の所得の状況について】
 以下の①～⑤のうち、該当する番号の☑にチェックしてください。

【保護者等の所得の状況について 2】
 ・課税証明書等を添付する**<保護者等の氏名>**及び**<生徒との続柄>**を記入してください。

申請書の書き方(裏面)

【扶養親族の状況について】

本年7月1日現在の世帯員に、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の申請者に扶養されている兄・姉・弟・妹の有無を **チェック** してください。

○兄弟姉妹がいる→(2)の世帯全員の状況を記入してください。

○兄弟姉妹がいない→(2)の世帯状況を記入しないで、【5】確認事項を記入してください。

【確認事項について】

1. ~4. の記載項目について確認していただき、**全ての口**に **チェック** をしてください。

5. 給付金の受給回数は **これまでに受給された回数** を記入してください。

今回初めて申請される方…「0」
不明な場合は空欄でも可。
(受給には上限回数があります)

【学校記入欄について】

・学校記入欄の日付が、
募集開始前の**本年6月30日以前**又は
最終締切後**11月1日以降の日付**である場合は、
受理できません。

①で②の区分を選択された方は記入

③で④の区分を選択された方は記入

全員記入

学校が記入

全員対象：提出前にご確認ください

【4】扶養親族の状況について
(1)基準日(本年度7月1日)現在の世帯員の扶養状況について、**該当するものを選択(口)**してください。
 対象となる高校生等の他に、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄・姉・弟・妹がいない。
 一 次【4】(2)を記入してください。
 対象となる高校生等の他に、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄・姉・弟・妹がいない。
 一 【5】へ進んでください。②の記入は不要です。

(2)表面の【1】申請区分について、申請区分③に該当する場合のみ、記入してください。
本年度7月1日現在の、世帯全員の状況を記入してください。
 ※続柄は、対象となる高校生等を基準としてください

続柄	氏名	生年月日	年齢	職業又は 学校名・学年	課程 (学生の場合)	本年度給付金の 申請の有無	区分③に該当 する扶養者*
本申請対象の 生徒本人	奈良 柊子						
父	奈良 太郎	S H・R XX/〇〇/〇〇	52	会社員	口通信・専攻科 口それ以外	口有 口無	
母	奈良 咲子	S H・R XX/〇〇/〇〇	50	パート	口通信・専攻科 口それ以外	口有 口無	
兄	奈良 鹿男	S (H) R XX/〇〇/〇〇	20	〇〇大学1年	口通信・専攻科 口それ以外	口有 口無	〇
妹	奈良 花子	S (H) R XX/〇〇/〇〇	15	△△高校1年	口通信・専攻科 口それ以外	口有 口無	
祖父	奈良 耕作	S (H) R XX/〇〇/〇〇	84	無職	口通信・専攻科 口それ以外	口有 口無	

*対象となる高校生等以外の、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹に〇印を記入してください。
 なが、対象は平成14年7月3日から平成21年7月2日生まれの方です。

【5】確認事項
 下記の事項について確認の上、**口にし点をつけ(口)、口にし点をつけ(口)、口にし点をつけ(口)**を記入してください。

❑1. 本申請書及び添付書類等の記載内容に**相違のない**ことを誓約します。
 ❑2. 申請にあたり以下の項目について了承します。
 (1) 生活保護の受給状況について、住所地を所轄する市町村担当課等に照会する場合があります。
 (2) 申請書類に虚偽の記載を行うことにより、本来受けることができない給付金の給付を受けた場合、給付決定を取り消し、奈良県の求めに従い、その全額を直ちに返還しなければならないこと。
 ❑3. 私は、今年度、対象となる高校生等※について、**奈良県及び奈良県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。**
 ❑4. この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による**児童養育施設**(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))**の支給対象ではありません。**
 ❑5. 高校生等※について、高校生等奨学給付金をこれまでに受給した回数は、 **(1)** 回です。
 ※ この申請書の対象となる高校生等のことです。

【学校記入欄】
 この欄は、学校が記入する欄のため、何も書かないでください。
 ※必ず学校に記入いただき、日付の記入及び校長印が押された状態で提出してください。

※本欄と裏内裏が証明されている場合は、本欄への記入に代えて、別途、学校証明書を提出していただくことも可能です。

学校担当者	問い合わせ電話番号
-------	-----------

対象要件チェックリスト
 <生活保護(生業扶助)受給世帯 または 住民税所得割非課税世帯> が本申請の対象です。

記入事項チェックリスト
 申請年月日を記載した
 チェック欄(【2】~【5】の口)に**チェック(口)**漏れがない
 学校記入欄に記入されている(奈良県外の学校の場合)

添付書類チェックリスト
 (全員) **生活保護(生業扶助)受給世帯**の場合: 「生活保護(生業扶助)高等学校等就学費」支給証明書
 住民税所得割**非課税世帯**の場合: 「課税証明書」または「住民税決定通知書」、「納税通知書」等
 (全員) 「口座振替申請書」
 (該当者) 「扶養誓約書」

【世帯全員の状況】

・**本年7月1日現在の状況を記入**してください。

・兄弟姉妹の本年度奨学給付金制度への申請の有無を **チェック** してください。

・続柄は、対象となる高校生等からみた関係を記入してください。

・表右端には、別紙扶養誓約書に記載している兄弟姉妹に **〇印**を記入してください。

●対象となる「高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養者」については、**扶養誓約書**により判断します。

※ひとり親家庭の場合、兄弟姉妹は申請者に扶養されていることが必要であり、**申請者以外の者に扶養されている場合は、申請区分③に該当しません。**